市では、地球温暖化対策や、ごみ減量、自然環境の保全などの取組みをより一層推進するため、新しく「那覇市環境基本計画（改定）」を策定しました。

この計画は、今後の那覇市の環境に関する施策の基本となるものです。

計画では「人・自然・地球にやさしい環境共生都市なは」を望ましい環境像として、5つの環境形成目標で構成されています。

環境政策の基本的方向性と、その達成のための可能な限り数値化された目標を設定しました。

○目指す環境像

この計画では、目指す環境像として、市民が身近な自然に親しんで生き物に配慮し、公害がなく健康で快適な暮らしを営み、歴史や文化を尊重しながらも未来をみすえ、環境保全・創造行動を起こすことができる人・家庭・職場・地域などであること、また、各地域などが協力して環境問題に取り組む姿勢を「人・自然・地球にやさしい環境共生都市なは」として表現し、施策の展開を推進して参ります。

お問い合せ　環境政策課　☎951−3231

人・自然・地球にやさしい環境共生都市なはをめざして

参画・協働・人づくり

○ 持続可能なまちづくり(ゼロエミッションの推進)　○ 空気のきれいなまちづくり
○ きれいな水のせせらぎがあるまちづくり　○ 安らかに生活できるまちづくり
○ 次世代に健全な環境を引き継ぐまちづくり　○ 公害などの少ないまちづくり

環境にやさしい企業活動　エコアクション21、ISO14001を活用して

「エコアクション21」を活用した沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパでは、事業活動のあらゆる面で、地球環境保全に配慮した企業活動を展開しています。

農園では、ホテル食材(無農薬栽培)の野菜や植栽などの生産をしています。堆肥化された生ごみは、ここで肥料として土に返ります。

1日平均400kgの生ごみを処理。できた堆肥は農園へ

ISO14001を活用して環境保全に取組んでいる沖縄ハーバービューホテルECO推進担当マネージャーの糸数清志さんは、「県内の多くの組織で環境への取組みが広がっていくといいですね」と期待をこめて話していました。

沖縄ハーバービューホテルでは、客室内でもごみの分別を呼びかけている。

ガーデンレストラン、宴会場では、洗ってまた使えるリサイクルはしを導入

重点施策

地球温暖化対策

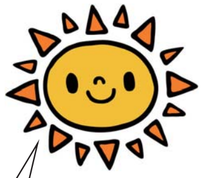
地球市民として、次世代に一人ひとりの生活・社会活動

環境教育・学習

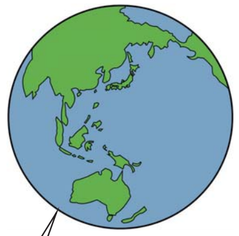
人づくり・地域づくりに向けて、多様な主体との連携

5つの環境形成目標

生活環境
市民の健康を守り、持続発展が可能なすがすがしいまち



自然環境
身近な環境を大切にし、育み、親しむまち



地球環境
環境負荷の少ない地球にやさしいまち

都市環境
快適でやすらぎのある住みよいまち

歴史・文化環境
個性豊かな文化と触れ合うまち

人と環境にやさしい歩いて楽しいまちをめざして

国際通りトランジットモールを訪れた市民から「小鳥のさえずりが聞こえるようになった」「排気ガスが気にならず国際通りが新鮮に感じる」などの声も寄せられ、国際通りは歩いて楽しいまちに変わりつつあります。

○ みどりあふれるまちづくり
○ やすらぎのあるまちづくり
○ ゆとりのあるまちづくり

夏は涼しく冬は暖かい　屋上緑化

市では、環境にやさしく、みどりあふれるまちづくりのための屋上緑化を推進しています。みどりを育ててみませんか?
お問い合せ　花とみどり課　☎951-3225

かぶ、山芋、ハーブなどの手入れをする大城和子さん。今年は、みかんが楽しみと話していました。(銘苅)

山原の風景をイメージした、ノボタンの咲く庭園(泉崎)

庭園にウッドデッキを併設、家族や友人などとの語らいの場として活躍(真嘉比)

○ 個性豊かな文化と触れ合うまちづくり

童屋は沖縄を代表する焼き物のまち。継承されてきた文化を大切にしながら、新たな文化を創造していく

2005 那覇市環境フェアをステージから盛り上げてくれたよさこいソーラン(安岡中)

子どもエイサー（銘苅小）

○ 身近な自然を大切にし、育み、親しめるまちづくり　○ 身近な環境を理解し、積極的な市民が住むまちづくり

環境教育賞

市内のすべての小中学校では、日常的に環境教育への取組が行われています。

市教育委員会では、積極的に「那覇市の自然、きれいな空気を守り伝えるため、資源の有効活用、環境負荷の軽減、環境保全など環境づくりに関する活動」を推進してきた小中学校を対象に「環境教育賞」を授与しています。平成18年度の受賞校を紹介します。

- 久茂地小学校
  - 花いっぱいの学校づくり
  - 落ち葉の堆肥化
  - 牛乳パックのリサイクル
- 松島小学校
  - 花いっぱいの学校づくり
  - 地域の清掃活動
- 若狭小学校
  - 地域の自然を守り育てるための学校ビオガーデンづくり
- 宇栄原小学校
  - 学校版ISOの実施
  - 自然、ごみ、食を通した環境教育の実践
- 石嶺小学校
  - 花いっぱい学校づくり
  - 全校児童による毎朝の清掃活動
- 松城中学校
  - 花いっぱい学校づくり
  - リサイクル活動
- 安岡中学校
  - 年間を通した校内外の緑化活動

食を通した環境教育の実践（宇栄原小学校）

エコクッキング
豆腐作り
国内産の材料を使い、豆腐を固めるのは、南部の海の海水を使いました。
沖縄のきれいな自然と海があることに感謝して汚さないことを話し合いました。

沖縄そば作り
小麦粉の自給率や沖縄そばの歴史、地産地消の勉強をしました。

カヌー（久茂地小学校）
久茂地川って思っていたよりはきれいだね。
でも緑色で底の様子は見えないね。

こどもエコクラブ

子どもたちが、自然に親しみながら、身近な環境に関心を持ってもらうことを目的に「こどもエコクラブ推進事業」を実施しています。

昨年の活動「水辺の一斉調査」では、子どもたちから「川をきれいにしたら、もっと生き物が増えると思う」「また川に入ってみたいと思った」などの感想が寄せられました。

太陽光で調理「もうできたかな〜?」「おいしいゆで卵ができたよ」(与儀学童)

ふろしきでマイバッグづくりを楽しむ(与儀小学校)
アースの会による出前講座メニューの一つ

これ、なにかなぁ〜（安謝川の生き物観察）

出前講座
楽しく環境学習
レジ袋をことわろう！

お問い合せ
環境保全課
☎951−3229

○地球をいたわるまちづくり

新エネルギー

太陽光・風力複合発電システムで、エコロジーに取組む銘苅小学校

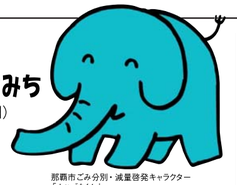
校舎の屋上でくるくるまわる風力発電と太陽光発電システムのソーラーパネル。

消費電力や水道使用量、二酸化炭素の削減量がリアルタイムで表示。「環境への負荷を減らす取組みの結果が見えます」

国際協力

「水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約（ラムサール条約）」登録湿地の漫湖。国境を越えて渡りをする水鳥たちを保護するためには、渡りルート上の国々の協力が必要です。

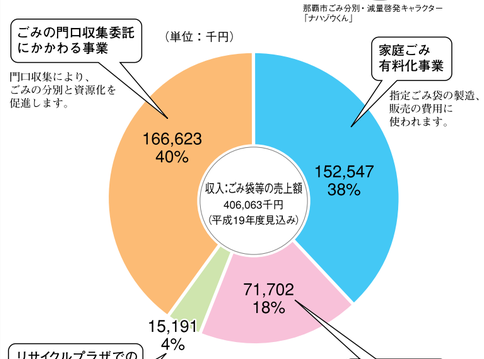
クロツラヘラサギ「えさも食べたし、昼寝どきだな〜」



那覇市ごみ分別・減量啓発キャラクター「ナハソウくん」

平成19年度
指定ごみ袋等の収入と使いみち

（平成19年度収入見込み額の説明）



シリーズ
グリーンコンシューマーってなあに ⑥

ゼロエミッション推進室　☎951-3392

☆リサイクルされたもの、リサイクルシステムのあるものを選ぼう

ごみをきちんと分別し、資源化することは大切なことです。新聞やお菓子の箱などから再生紙を作ったり、ペットボトルを繊維の原料に再生することにより、その原料である木や石油などの資源使用量が少なくすみます。

しかし、私たちが再生品を使わなければ、資源がまた新たに使われることになります。再生品は手間と費用がかかっており、価格が高く感じられるかもしれません。

森林や石油などの限られた資源について考える時、価格だけで決めてしまってよいのでしょうか。分別するだけでなく、再生品を使ってはじめてリサイクルの輪が回っていると言えますね。

＊グリーンコンシューマーとは、環境のことを考えて買い物をする人のことです。

リサイクル識別表示マーク
PET